

地域の方々と、 音楽とボッチャでふれあい交流

教育課程上の位置付 生活単元学習

実施概要

当校は開校4年目の学校であるため、当校がどのような学校であるかを、地域の方々に知ってほしいとの思いから、近隣の公共施設の地域の利用者を学校に招待しました。活動内容は、歌とボッチャで90分の交流としました。

学校と施設との距離は50mと、近くにありますが、直接交流するのは初めてでした。

活動参加者 当校 生徒…14人 担当教員…5人
内訳 交流先 利用者…8人 担当職員…2人

交通手段 当校と青山いきいきプラザとの距離はおよそ50m
徒歩で来校・訪問 約2分



ボッチャのボール、円の中に入りますように

活動報告 実施日：10月23日(月)

学校に招待しての社会貢献活動は、生徒が校門で利用者を迎え、会場に案内することから始まりました。会場である視聴覚室に着くと、生徒と利用者が対面で椅子に座り、自己紹介をしました。生徒、利用者共に、一人ずつ、氏名と好きな物について思い思いに話しました。

第1部は、生徒による合唱を披露しました。生徒は合唱をしながら、手話やストリングスの演奏も行いました。利用者も、生徒と同じように動いたり、手拍子したりするなど、生徒と一緒に音楽を楽しみました。

第2部のボッチャ交流では、まず、生徒がパラリンピックの競技であるボッチャの紹介と競技の説明を行いました。その説明に、参加利用者はしっかりと聞き入っていました。

その後、決められた場所から床に敷かれたコート上の点数のついたエリアにボッチャのボールを投げて、合計点数を競うゲームを行いました。2ゲーム目は、生徒と利用者の混合チームを組んでゲームを行いました。生徒や利用者一人一人の真剣な一投に、皆で声援を送ったり、応援したりしながら自然に会話するなど、ボッチャを通じて楽しく和やかな交流活動となりました。

当日のスケジュール

- 13:00 学校、施設、SSC、都教委4者事前打合せ
(2階ミーティングルーム)
代表生徒2人が校門にて施設利用者を迎え、2F視聴覚室に案内
- 13:30 開会 各団体自己紹介 司会(生徒)
- 13:35 第1部 音楽交流
- 13:45 ・中学部生徒による合唱披露
2曲「今日から明日へ」「COSMOS」
- 14:00 〈休憩15分〉
- 14:15 第2部 ボッチャ交流
・競技説明(生徒) パワーポイント使用
・ゲーム(2ゲーム目は、生徒と利用者の混合チーム)

- 14:45 閉会式 ・生徒によるお礼 ・施設長の感想
・本校校長より挨拶
- 14:55 閉会后、昇降口まで代表生徒見送り
- 15:00 終了

■活動のために準備したもの

- スケジュール紹介のスライド ● 歌のCD
- ボッチャ用具 ● 生徒司会用原稿

■工夫したところ

- スケジュールをスライドにして提示しました。
- 合唱披露では、生徒による手話もおこないました。
- ボッチャでは、交流がより活発になるよう、高齢者の方々と生徒の混合チームを作ることにしました。

■実施にあたって注意したところ

- 活動場所が狭くならないよう、座席位置、用具等の配置を工夫しました。
- 当日の見通しがもてるように、事前学習やリハーサルをおこないました。

■良かったと思うところ

- 本校について、地域の方の理解が広がりました。
- 活動を通して、地域施設との連携が図れました。
- 生徒に対し、感謝や励ましの言葉をかけていただきました。

■今後に向けての学校からの抱負

地域の方々に本校を知ってもらい、交流を図ることができたことが良かったです。いろいろなやり方があると思います。今年度の活動を振り返り、来年度の活動に生かしていきます。

当校は、平成26年度に開校した小学部と中学部を設置する知的障害特別支援学校で、「小さな一歩の継続—経験の積み重ねが、自信に変わる—」を校訓としています。

社会貢献活動としては、中学部による青山霊園や青山公園の清掃活動や、作業学習の一環として園芸班の作った花を「青山いきいきプラザ」に置くなどの活動を行っています。

活動の感想

生徒・教員の感想

- 生徒**
- みんなといっしょにできて楽しかったです。案内がうまくできました。
 - 司会をしました。人前で話すのがとても恥ずかしかったけど、頑張りました。ボッチャで負けたのはくやしかったけど、一緒に楽しめて良かったです。
 - 歌が上手に歌えました。拍手をもらってうれしかったです。今度は一緒にダンスをしたいです。

- 教員**
- 最初は緊張が見られましたが、生徒の司会で練習してきた通りに活動を進めることができました。ボッチャ交流の際には、得点のたびに利用者の方とハイタッチや会話するなどが見られ、お互いに楽しく和やかな雰囲気になれたのが良かったです。「学校と施設はお隣さん、挨拶など遠慮なくできるようにしていきましょう」と終わりに利用者の方が挨拶されたように、今後も活動を通して交流を深めていきたいと考えています。

施設の参加利用者・担当者の感想

- 利用者**
- 楽しかったです。歌も皆さん、お上手でした。最初から最後まで、楽しませていただきました。今日は、本当にありがとうございました。
 - ボッチャは初めてやりましたが、楽しめました。また、来ます。
 - 外でお会いしたら、私の方から声を掛けてみたいと思います。

- 館長**
- 今回このような機会です青山特別支援学校と交流できたことを大変感謝しております。第1部の合唱では生徒が笑顔でリズムをとりながら一生懸命歌っていた姿はとても感動的でした。第2部のボッチャでは、混合チームと一緒に戦いを楽しみ、喜びや悔しさを分かち合うことができました。参加した利用者は生徒からたくさんパワーをいただき、有意義な時間を過ごすことができたのではないかと思います。利用者の8人からは「とても楽しかった」「参加して良かった」「次回も参加する」などとお言葉をいただきました。次回開催が楽しみです。

■実施までの経過 ※(コ)：コーディネーター

- 7月31日 (コ)、学校を訪問。担当教員と第1回打合せ。(コ)、施設を訪ね、施設担当者に当事業を説明し、協力を依頼
- 8月9日 施設担当者より、当事業に協力する旨の連絡を(コ)受信
- 8月23日 施設長、施設利用者の学校訪問を快諾
- 9月13日 担当教員2名と(コ)、施設を訪問。施設長、施設担当者日時や内容の打合せ。その後、学校にて担当教員2名と第2回打合せ
- 10月16日 施設担当者が事前確認のため、学校を訪問し、学校内を見学
- 10月20日 (コ)、学校を訪問。担当教員と第3回打合せ

交流先



港区立青山いきいきプラザ

住 所：東京都港区南青山2丁目16番5号

■施設概要

- 高齢者のいきいきづくり・介護予防・健康づくりの支援
- 区民の相互交流・自主活動の促進



生徒の合唱に合わせて利用者さんも手拍子



応援の合間に会話も弾みます